

令和8年度 政策討論会 第二分科会（第3回）要点記録

- ・テーマ … スポーツコミッションの設立について
- ・日時 … 2026 年 7 月 7 日（火）10 時から
- ・場所 … 議会会議室
- ・会議時間 … 10：00 ～ 11：08
- ・出席者 … 中岡 佐織（副座長）
昼馬 光一
殿本 マリ子
烏野 隆生
友永 修
京西 且哲
中井 良介 （副座長以下は議席番号順）

- ・米田座長が欠席のため、中岡副座長が進行。
- ・分科会への理事者招へいに際してのルールを朗読確認。
- ・スポーツ振興課による「岸和田市スポーツ推進計画」の説明の後、質疑。

（1）次回の進め方について

具体的な方向性を検討していくにあたり、地域スポーツコミッションの成功事例・失敗事例を調査し、本市で設立する場合の方向性や、事務局・リーディング役をどこが担うのか、また構成団体をどのようにするのかなどについて、それぞれ調べて持ち寄ること。

（2）次回開催予定

日時：令和8年8月5日（水） 午前 10 時から
場所：第2理事者控室

（3）発言要旨

各議員の発言内容は別紙のとおり。

中岡副座長

スポーツ振興課に対し、スポーツ大使制度について確認したところ、人数に上限は設けておらず、今後増やすことも可能であるとのことでした。一方で、人数を増やすことが目的ではなく、スポーツ大使がイベント等に積極的に関わるなど、制度が形骸化しないよう中身を充実させていきたいとの考えが示されました。

また、「現在スポーツコミッションがあれば、より進めやすかった取組はあるか」と質問したところ、全国大会や合宿の誘致に向けた環境づくりが進めやすかったとの認識が示され、スポーツコミッションの設立によるメリットは大きいとの答弁がありました。さらに、紫波町のようにバレーボール合宿などターゲットを明確にした誘致を行うことも有効との考えが示されました。

これを踏まえ、私は、スポーツコミッションは設立すること自体が目的ではなく、誰がリーディング役となって組織を牽引するのが重要であると発言しました。組織を立ち上げて、中心となって地域全体を巻き込みながら進める人材や体制がなければ十分に機能しないと考えます。

また、スポーツを単なる競技振興としてではなく、スポーツツーリズムの視点から地域振興につなげ、経済的・社会的な効果を生み出せるスポーツコミッションを目指すべきと提案しました。全国から大会や合宿を誘致できたとしても、飲食や宿泊などの受け皿が整っていないければ地域への波及効果は限定的となるため、地域全体で受け入れる仕組みづくりが必要であることも指摘しました。

次回の討論会に向けては、スポーツコミッションの成功事例・失敗事例を調査するとともに、岸和田市においてどのようなスポーツコミッションが効果を発揮できるのか、具体的な方向性を検討していくこととしました。

昼馬議員

スポーツコミッション成功例の情報提供

鹿児島県 指宿市

温暖な気候と温泉資源を利用してプロや学生の大会・合宿・大型イベント誘致に成功。

北海道 網走市

冷涼な気候と高品質な芝施設を強みにラグビー等の合宿誘致で年間五億以上の経済効果をうみだす。

長野県 白馬村

冬季に加えマウンテンバイクなどグリーンシーズンのアクティビティ拠点を整備し通年観光を確保する。

鹿児島県 大崎市

サッカー等の合宿・大会誘致と地元連携により2023年に延べ宿泊数5500泊と過去最高を記録。

殿本議員

- ①トップアスリートを呼ぶには費用は高額となる。しかし NPO 法人が呼んでくれたら費用を NPO 法人が出してくれることが多いです。
- ②スポーツコミッションをするときの他市の成功例や失敗例を参考にして方法を学ばなければならない！
- ③熊取は体育大学やヒマワリドームなどがあり、そこで開催されるスポーツ大会も有名だが、最初はよかったが、スポーツコミッションとしてはなりたっていません。それは何故かを検証しなければならない。

友永議員

(スポーツ振興課から、「岸和田市スポーツ推進計画」の概要説明を受けた)

- ・現状と課題の箇所、社会体育施設の再編や取組分野ごとの課題について
スポーツ人口増を目指す上で、6つの課題を挙げられているが、その解決に向けての考えを確認したが、その為には、やはり予算と体育施設などの場所の問題があり、非常に複雑であることが分かった。
- ・トップアスリートとの交流促進に関連して
スポーツ教室等を開催しているとのことだが、もう少し大きなスポーツイベントまで拡大し、集客できるものにすることは可能か確認したが、現状、そこまでは考えていないようである。また、岸和田市が特化するスポーツ種目も、今のところ絞っていない。
- ・他の意見を聞いて
スポーツコミッションを設置したとしても、やみくもに大規模なスポーツ大会等を誘致するだけでは、環境が整っておらず、まとまらない。まずは、本市で活躍しているスポーツ種目を絞り、活性化に向けて必要な環境づくりを検討すべきとの考えに賛同する。

京西議員

教育委員会生涯学習部スポーツ振興課から「岸和田市スポーツ推進計画」の説明を受けたが、市民のスポーツ環境向上が計画の目的であった。

本市の行政運営において不足しているのは、経済の基盤づくりと活動の支援と考える。

国はスポーツを産業に位置付けた政策を推進していることから、スポーツによる地域の活性化を掲げる本市は、早急に施策を準備すべきである。

事例として、令和８年３月に本市で開催された「全国高等学校女子選抜大会（ソフトボール）」は、大会関係者や全国からの来場者を歓迎する活動が全くなかった。

また、出場高校の宿泊先や交通手段についても、旅行業者に委託しているためわからない。

行政組織の個別の担当課は、ひとつの課題を解決することが主目的であり、地域社会と幅広く関係する課題には対応が困難であることから、民間団体と一体の組織が必要と考える。

既に、全国規模のスポーツ大会を受け入れていることや、新たな誘致を目指すことから、「スポーツコミッション」の設置を本市の成長戦略に位置付けるべきである。

中井議員

市のスポーツ振興課から振興計画の説明を受けた。市民がスポーツに親しむ機会を増やし、スポーツの振興とそのための施設整備が市の役割だと思う。競技スポーツを推進することも大事だ。市の振興計画には大規模スポーツイベントの開催、誘致やトップアスリートとのふれあいなど、スポーツコミッションのコンセプトと一部重なるところもある。

他市のスポーツコミッションを少し検索したが、市の役割と体育協会などスポーツ団体との関係、さらに民間企業との関係がまだよくわからないので各地の状況を勉強したい。